令和４年度通常総会

日　時　　令和４年６月１日（水）午後２時 30 分
会　場　　城山ホテル鹿児島　ルビー

公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部

会　　次　　第

１　開　　会
２　会長挨拶
３　来賓挨拶
４　成立宣言
５　議長選出
６　議　　事
　(1)　議事録署名人選出
　(2)　議　案
　　第１号議案　令和３年度事業報告及び決算について
　　（監　査　報　告）
　　第２号議案　理事の選任について
　(3)　報告事項
　　令和４年度事業計画及び予算について
７　その他

８　閉　会

（休　　憩）

◇　講演会

演題　「地域の中小企業等の「稼ぐ力」の創出・向上について」
講師　鹿児島県商工労働水産部長　平林 孝之氏

◇　プレゼンテーション

（株）サナス　吉元 寧氏(開発研究部機能性食品開発課主任研究員)
地域資源活用プラザ会長　門 久義氏(鹿児島大学名誉教授)
村田 秀博氏（上海金天知識産権代理有限公司日本事務所長）

◇　交流パーティー(4F パール)

【第１号議案】　令和３年度事業報告(案)及び決算(案)について

[事業報告]

(公社)鹿児島県工業倶楽部は、異業種間の交流推進や、産学官のネットワーク化による企業の事業展開につながる支援、知的財産権に関する経営課題や経営戦略を一元的に受け入れる「知財総合支援窓口」での相談対応、さらには、工農連携による農林水産業や食品産業の成長・発展への支援など、本県産業の振興や地域経済の発展に貢献することを目的としている。

令和３年度は、一昨年度に引き続き、新型コロナウィルスの世界的な感染拡大により我が国の経済活動は大きな影響を受けた。工業倶楽部では、このかつてない環境変化に対し、各企業が現状を打破し、新分野展開など事業の再構築や、企業価値を高めることに貢献する各種事業及び情報提供に努めた。各委員会、異業種交流プラザ、研究会等では、会員が相互にプラスの利益を生み出すビジネスの多様なつながりを生み出す契機となるようなセミナーやラボツアー等を開催した。テーマもポストコロナに向けたデジタル化の推進、SDGs、工農連携、DX など企業の新たな挑戦を支援する内容で展開した。

また、１１月には鹿児島大学と主催する「第１１回食と健康に関するシンポジウム」を開催し、「鹿児島発！新技術で支える『健康と食』」をテーマに、「新型コロナを克服するワクチン・治療薬の開発」と「畜産を持続可能な成長ビジネスにする技術革新」の二つのセッションにより、５名の講師に講演をいただき、様々な革新的な研究成果等を新たな商品化・事業化につなげる機会の創出に努めた。

また、農業分野にアプローチしたラボツアーやスマート農業についての研究など、「YouTube」等を活用した事業展開など新たな分野への取組促進を図った。これらのセミナーや打合せに当たっては、当倶楽部としても初めて「ウェブ会議」を活用し、会員企業における今後の事業展開の参考となる場を提供したところである。

さらに、鹿児島大学や国、県、県工業技術センター、(公財) かごしま産業支援センター、鹿児島工業高等専門学校、ベンチャープラザ鹿児島二水会等との連携強化を進め、産学官で交流とネットワーク化を図ることで、それぞれが持つ「知」の集積を異分野での活用の場に広げ、会員企業の新たな事業展開につながる場を提供した。

［主要事業］

１　理事会

（１）令和２年度決算に係る監事の監査(4/19)

（２）第１回正副会長会及び理事会を開催（4/28）

① 入会の承認について

② 令和２年度事業報告案及び決算案について

③ 理事の選任案について

（３）第２回正副会長会及び第２回理事会を開催（10/6）

① 入会の承認について

② 新年大会について

(報告事項)

①「第 11 回食と健康に関するシンポジウム」について

（４）第３回正副会長会及び第３回理事会を開催（3/24）

① 入会の承認について

② 令和４年度事業計画及び収支予算について

③ 役員改選について

④ 事務局長の交代について

⑤ 令和４年度総会について

(報告事項)

① 「知財総合支援窓口運営業務」について

２　総会（5/31）城山ホテル鹿児島

① 令和２年度事業報告及び決算の承認について

② 役員改選について

③ 令和３年度事業計画及び予算について

④ 講演会

演題「工業でも農業でも共通な AI/Iot 技術導入の流れ」

講師　国立研究開発法人産業技術総合研究所センシングシステム研究センター副研究センター長　山下健一氏

⑤ プレゼンテーション

・中迫明夫氏((株)サナス機能素材部次長)、前津晋也氏(同部アプリケーション開発課長)

「揚げ物用デンプンと介護用嚥下剤商品の紹介」

・中山佑樹氏((株)ネクシィーズ鹿児島営業所)

「設備導入支援による地球環境保全」

・若手経営者プラザ
「YouTube バトンとオンラインビジネスマッチングについて」
・上田平重樹氏(インターマン(株)代表取締役社長)
「抗ウィルス酸化銅マスクの紹介”V-LOCKS®”」
・川前康博氏
「食品衛生法改正に伴う本格運用前夜に際して」

３　第 11 回食と健康に関するシンポジウム

『鹿児島発！新技術で支える「健康と食」』

(１)日　時　令和３年 11 月 19 日（金）　１４：００～１７：４０
(２)場　所　鹿児島大学　メモリアルホール
(３)主　催　(公社)鹿児島県工業倶楽部、鹿児島大学産学・地域共創センター
(４)内　容
①テーマ１　新型コロナを克服するワクチン・治療薬の開発
講演　コロナに打ち勝つ心構えと医療品開発のプロセス
(株)新日本科学　代表取締役会長兼社長　永田良一氏
講演　ワクチン・治療薬の開発状況と鹿児島大学の取組み
鹿児島大学　ヒトレトロウイルス学共同研究センター
教授　池田正徳氏
②テーマ２　畜産を持続可能な成長ビジネスにする技術革新
講演　養豚経営に生産革命を起こすＩＴ技術を提供
(株)Eco-Pork 代表取締役　神林隆氏
講演　唯一無二の先進技術で食肉加工の課題解決に挑む
マトヤ技研工業(株)　代表取締役会長　益留福一氏
講演　放牧で美味しく健康的な黒毛和牛を育てる技術
鹿児島大学　農学部教授　後藤貴文氏
パネルディスカッション
(５)参加人数　２４４名(うちオンライン１２７名)
(６)後　援
九州経済産業局、鹿児島県、(独法)中小企業基盤整備機構南九州事務局、(公財)かごしま産業支援センター、鹿児島市、(株)鹿児島 TLO、南日本新聞社、NHK 鹿児島放送局、MBC、KTS、KKB,KYT

４　知財総合支援窓口について

（1)令和３年度鹿児島県知財総合支援窓口の支援件数　　単位：件 ％

支援項目 ＼ 計画と実績	相談支援件数 合計　A	専門家活用 支援件数 （A の内数）	新規相談件数(A の内数)	普及啓発の訪問企業数	臨時窓口開設 （県工業技術センター等）	
					本土	離島
年間計画　　件	２，０００	３４０	３５０	４００	３６回	１２回
実　績　　件	２，４５５	５０９	３７０	４６９	５４回	１５回
達成率　　％	１２２．８	１２７．３	１０５．７	１１７．３	１５０．０	１２５．０

（2）中小企業支援機関担当者連絡会議開催（8/5,3/1）

・九州経済産業局及びＩＮＰＩＴ並びに県内の中小企業支援機関が出席し、中小企業の知的財産に関する事業、海外展開等に対する支援事例や来年度の事業について情報交換を行い、今後の連携支援の検討及び支援の高度化を図った。

５　第 81 回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

（1）日　時　令和３年 11 月 10 日（水）　１５：００～１７：１０

（2）場　所　ホテル・レクストン鹿児島

（3）主　催　(公社)鹿児島県工業倶楽部、(公財)かごしま産業支援センター
　　(一社)九州ニュービジネス協議会鹿児島地域委員会

（4）ビジネスプラン発表

① 宝来メデック(株)(鹿児島市)
　耐アルカリ性光合成菌技術により土壌改良、成長促進

② 「ノアコーヒー」(株)ＪＵＮ建設(霧島市)
　国産コーヒー生産の現状と今後の展望について

③ Buddycare(株)(鹿児島市)
　Pet tech を活用した愛犬の健康管理プラットフォームとカスタマイズソリューションの提供

６　プラザ等の活動

異業種交流を旨とする当倶楽部の中心的活動であり、グループごとに自発的に例会を開催し、講演、情報交換、視察、研究などを実施。

プラザ、部会、地区プラザ等それぞれの計画に従って随時開催

（実績：別紙）

７　会報の発行

① 第 68 号（2021 年 7 月）
通常総会、私と工業倶楽部、「YouTube バトン」＆「オンラインビジネマッチング」、新会員情報等

② 第 69 号（2022 年 2 月）
知事・会長あいさつ、「第 11 回食と健康に関するシンポジウム」、私と工業倶楽部、新会員情報等

８　その他

委員会活動（実績：別紙）

９　その他関連事業

（１）鹿児島大学との連携(工業倶楽部と鹿児島大学は包括連携協定締結)

・食と健康に関するシンポジウム(再掲)
・大学地域コンソーシアム鹿児島 地域連携・就業部会
・鹿児島大学工業倶楽部賞(令和 3 年度 2 名)

中村桐子さん(農林水産学研究科)
テーマ　肉養鶏生産の夏季の生産性並びに肉質の低下を軽減する飼料資材の研究

佐々木真歩さん(農林水産学研究科)
テーマ　桜島大根に含まれるトリゴネリンの特性及びヒト介入試験による桜島大根の健康有用性の研究

（２)インターンシップ事業講師派遣

薩摩川内市立東郷学園義務教育学校:小齊平智久氏（２月８日）

（３）かごしまデザインフェア 2022

※令和 3 年度は中止

◇活 動 実 施 状 況

令和３年 ４月　６日	若手経営者プラザを開催し、「IT を活用したパートナーシップで世の中をリードする～工業倶楽部 DX 化実現に向けた取り組みについて～」意見交換を実施
８日	八日会を開催し、情報交換を実施
１６日	プラザいもづるを開催し、近状報告と意見交換を実施
２８日	正副会長会を開催し、令和２年度決算及び令和３年度予算について協議 理事会を開催し、令和２年度決算及び令和３年度予算について協議
５月　７日	八日会を開催し、情報交換を実施
１１日	若手経営者プラザを開催し、「アジアとの経済交流の活性化」と題して、一般社団法人九州・アジアグローカルサポート　理事長　八十島　誠治氏が講演
１５日	若手経営者プラザを開催し、「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」の展開について意見交換を実施
３１日	令和３年度　通常総会を城山ホテル鹿児島「クリスタルガーデン」で開催 令和２年度の事業報告及び収支決算、役員改選、並びに令和３年度事業計画及び収支予算(案)等について審議を行い承認・可決された ・講演　「工業でも農業でも共通な AI/IoT 技術導入の流れ」と題し、国立研究開発法人産業技術総合研究所　センシングシステム研究センター副研究センター長　山下健一氏が講演 ・プレゼンテーション　中迫　明夫氏((株)サナス機能素材部次長)と前津　晋也氏(同部ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ開発課長)による「揚げ物用デンプンと介護用嚥下剤商品の紹介」、中山佑樹氏((株)ネクシィーズ鹿児島営業所)による「設備導入支援による地球環境保全」、若手経営者プラザ会長の中崎　啓文氏と脇野　真梨江氏による「YouTube バトンとオンラインビジネスマッチング」、上田平　重樹氏(インターマン(株)代表取締役社長)による「抗ウィルス酸化銅マスクの紹介”V-LOCKS®”」について、川前　康博氏による「食品衛生法改正に伴う本格運用前夜に際して」発表が行われた。
６月１６日	「食と健康に関するシンポジウム」に係る打合せ
２２日	若手経営者プラザを開催し、「業務転換し、特産品も売り込み二刀流で地域活性化」と題して、中原水産(株)　社長　中原　晋司氏が講演
２５日	８４プラザを開催し「オープンソースの活用で費用をかけずに顧客情報管理と顧客の満足度向上を実現」と題して、株式会社コレクトプラン　代表取締役　神薗　俊一氏が講演
７月　８日	八日会を開催し、情報交換を実施

１４日	「食と健康に関するシンポジウム」に係る打合せ
２１日	中小企業支援機関連携会議開催
２６日	若手経営者プラザを開催し、「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」の展開について意見交換を実施
２７日	８４プラザを開催し「特許法の一部改正で、知財制度はこう変わる」と題して、鹿児島県知財総合支援窓口　新村　孝善一氏が講演
8月　3日	「食と健康に関するシンポジウム」に係る打合せ
6日	工農連携研究会と鹿児島県農業法人協会（耕種部門）との意見交換会（ホテルウェルビュー鹿児島）
１０日	八日会を開催し、情報交換を実施
１０日	鹿児島県農業法人協会会員を対象とした、スマート農業ラボツアーを実施 視察１　ＥＮ（エコナーセリー）苗を使っている農家の視察 （①上福本様農場・②市薗様農場） 視察２　コンテナ＆自動搬送ロボットを活用した植物工場「エコナーセリー」及び接ぎ木装置「Ｘグラフター」の視察、並びにＥＮ苗の圃場 （(株) エコナーセリー、農業法人ＡＧＲＩＣＩＡ） 視察３　ゆす村農園（有）（熱帯果樹の苗栽培について）
２３日	若手経営者プラザを開催し、「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」の展開について、ＷＥＢ会議にて意見交換を実施
9月２４日	若手経営者プラザを開催し、「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」の展開について、ＷＥＢ会議にて意見交換を実施
２７日	工農連携研究会「イスラエルスマート農業オンラインセミナー」を開催 講演１：「イスラエルのスタートアップ・エコシステムと農業技術」 講師：　駐日イスラエル大使館経済部　西日本イスラエル貿易事務所 商務官　樋口　由紀氏 講演２：「イスラエル最先端 IoT 技術が、日本の農業の根本を大きく変える？」 講師：　(株)サンホープ　代表取締役社長　益満ひろみ氏 講演３：「イスラエルの農業と日本へのアプローチ」 講師：(株) ケーアイエヌ　代表取締役社長　ミシリ・ヤロン氏 COO　岡田　梨江氏・営業企画マネージャー　森　由有貴氏
１０月　4日	若手経営者プラザを開催し、「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」の展開について意見交換を実施
7日	八日会を開催し、情報交換を実施

１２日	８４プラザを開催し「ＤＸによる未来の創造～デザイン思考拡張によるコト創りへの挑戦～」と題して、日本ユニシス株式会社　上田　康弘氏が講演 ・講演会終了後後、若手経営者プラザによる、工業倶楽部「YouTube バトン」の紹介
２５日	「食と健康に関するシンポジウム」に係る打合せ
２９日	逆ラボツアーを実施(渉外委員会) 視察１　(株)久永 (「フリーアドレス」の執務環境レイアウトや業務のＤＸ化(デジタル技術による改革)を推進し、仕事の効率化・生産性向上を実現できるニューオフィスの視察) 視察２　(有)道免家具店（日本各地から発注を受けたユニット家具を、設計から製造までワンストップで行う大規模木造工場の視察)
１１月　８日	八日会を開催し、情報交換を実施
１９日	「第１１回食と健康に関するシンポジウム」を鹿児島大学稲盛会館　キミ＆ケサ　メモリアルホールで開催 「第１１回食と健康に関するシンポジウム」 「鹿児島発！新技術で支える『健康と食』」をテーマに「新型コロナを克服するワクチン・治療薬の開発」と「畜産を持続可能な成長ビジネスにする技術革新」の二つのセッションにより、今後の成長産業としての可能性について、５名の講師による講演を行った ●テーマ１　新型コロナを克服するワクチン・治療薬の開発 講演１．コロナに打ち勝つ心構えと医薬品開発のプロセス 株式会社新日本科学　代表取締役会長兼社長　永田　良一氏 講演２．ワクチン・治療薬の開発状況と鹿児島大学の取組み 鹿児島大学　ヒトレトロウイルス学共同研究センター　教授　池田　正徳氏 ●テーマ２　畜産を持続可能な成長ビジネスにする技術革新 講演３．養豚経営に生産性革命を起こすＩＴ技術を提供 株式会社Eco-Pork　代表取締役　神林　隆氏 講演４．唯一無二の先進技術で食肉加工の課題解決に挑む マトヤ技研工業株式会社　代表取締役会長　益留　福一氏 講演５．放牧で美味しく健康的な黒毛和牛を育てる技術 鹿児島大学　農学部教授　後藤　貴文氏 ●パネルディスカッション
２６日	スーパーシティ研究会を開催し、「ロボット技術最前線」と題し、鹿児島大学工学部　准教授　鹿嶋　雅之氏と、「未来都市で活躍する人工知能」と題し、鹿児島大学工学部　教授　小野　智司氏が講演
１２月　２日	食産業部会を開催し、「焼酎業界の新しい挑戦や可能性について」と題し、鹿児島県工業技術センター　所長　瀬戸口　眞治氏が講演

１０日	八日会を開催し、情報交換を実施
１７日	地域資源活用プラザを開催 ・「先端研究基盤共用促進事業について」と題して、鹿児島大学研究推進機構研究支援センター長　理工研（理学専攻）物理・宇宙プログラム　教授 小山　佳一氏が講演 ・「未来に必要な地域の母胎を目指す地域コトづくりセンター」と題し、鹿児島大学理工学研究科コトづくりセンター長　理工研（工学専攻）建築学プログラム教授　二宮秀與氏が講演
２３日	８４プラザを開催し「独自の粉砕技術で20ミクロン以下の超微粉化を実現」と題して、株式会社フィット&リカバリー　CEO　鶴留　洋一氏が講演
2月　9日	令和3年度九州各県工業団体事務局連絡会議に出席し、各県と意見交換を行った。
3月２４日	正副会長会を開催し、令和4年度予算について協議 理事会を開催し、令和4年度予算について協議

◇各 種 会 合 等 一 覧 表

月	総会・理事会 正副会長会	委 員 会 等	プラザ・部会・研究会・講演会等	計
令和 ３年 4	正副会長会 理事会		若手経営者プラザ、八日会、プラザいもづる	5
5	通常総会		八日会、若手経営者プラザ（２回）	4
6		特命委員会	若手経営者プラザ、８４プラザ	3
7		特命委員会 総務・広報委員会	八日会、中小企業支援機関連携会議、若手経営者プラザ、８４プラザ	6
8		特命委員会	八日会、若手経営者プラザ 工農連携研究会(市場に学ぶ)（２回） ・鹿児島県農業法人協会との意見交換会 ・スマート農業ラボツアー	5
9			若手経営者プラザ、工農連携研究会（「イスラエルスマート農業オンラインセミナー」）	2
10	正副会長会 理事会	特命委員会 渉外委員会	若手経営者プラザ、八日会、８４プラザ、逆ラボツアー	8
11		特命委員会	八日会、ベンチャープラザ鹿児島「ニ水会」、「第１１回食と健康に関するシンポジウム」、スーパーシティ研究会	5
12			食産業部会、八日会、地域資源活用プラザ、８４プラザ	4
令和 ４年 1		渉外委員会		1
2		総務・広報委員会	令和３年度九州各県工業団体事務局連絡会議	2
3	正副会長会 理事会			2
各 種 会 合 回 数 ４７ 回				

◇　各委員会活動実績

委員会名	月　日	内　容	場　所
総務・広報委員会	７月	会報Ｎｏ．６８号を作成・発送	鹿児島県産業会館
	２月	会報Ｎｏ．６９号を作成・発送	鹿児島県産業会館
渉外委員会	６月７日	逆ラボツアー打合せ	(有)道免家具店
	１０月２９日	逆ラボツアー 視察１：(株)久永 「フリーアドレス」の執務環境レイアウトや業務のＤＸ化(デジタル技術の改革)を推進し、仕事の効率化・生産性向上を実現できるニューオフィスの視察 視察２:(有)道免家具店 日本各地から発注を受けたユニット家具を、設計から製造までワンストップで行う大規模木造工場の視察	(株)久永 (有)道免家具店
特命委員会	６月１６日	食と健康に関するシンポジウム 第１回　打合せ	鹿児島大学
	７月１４日	食と健康に関するシンポジウム 第２回　打合せ	鹿児島大学
	８月　３日	食と健康に関するシンポジウム 第３回打合せ	(株) 新日本科学
	１０月２５日	食と健康に関するシンポジウム 第４回　打合せ	鹿児島大学
	１１月１９日	第１１回食と健康に関するシンポジウム開催	鹿児島大学 稲盛会館

◇　各部会活動実績

部会名	月　日	内　容	場　所
食産業部会	１２月　２日	（１）講演「焼酎業界の新しい挑戦や可能性について」 講師　鹿児島県工業技術センター 所長　瀬戸口　眞治氏 （２）情報交換	鹿児島県産業会館

◇　プラザ活動実績

プラザ名	月　日	内　容	場　所
八日会	４月８日	近況報告、情報交換	ﾚｸｽﾄﾝ鹿児島
	５月７日	近況報告、情報交換	ﾚｸｽﾄﾝ鹿児島
	７月８日	近況報告、情報交換	ｻﾝﾛｲﾔﾙﾎﾃﾙ
	８月１０日	近況報告、情報交換	鹿児島大 ｳﾞｪｼﾞﾏﾙｼｪ
	１０月７日	近況報告、情報交換	ｻﾝﾛｲﾔﾙﾎﾃﾙ
	１１月８日	近況報告、情報交換	鹿児島大 ｳﾞｪｼﾞﾏﾙｼｪ
	１２月１０日	近況報告、情報交換	鹿児島大 ｳﾞｪｼﾞﾏﾙｼｪ
８４ プラザ	６月２５日	（１）講演「オープンソースの活用で費用をかけずに顧客情報管理と顧客の満足度向上を実現」 講師　(株)コレクトプラン 代表取締役　神薗　俊一 （２）今語りたいこと（３分間スピーチ）	マークメイザン
	７月２７日	（１）講演「特許法の改正で知財制度はこう変わる」 講師　鹿児島県知財総合支援窓口 （２）今語りたいこと（３分間スピーチ）	マークメイザン
	１０月１２日	（１）講演「DXによる未来の創造～デザイン思考拡張によるコト創りへの挑戦」 講師　日本ユニシス株式会社　上席ビジネスストラテジスト　上田　康弘 （２）若手経営者プラザによる、「工業倶楽部YouTubeバトン」紹介 （３）今語りたいこと（３分間スピーチ）	マークメイザン
	１２月２３日	（１）講演「独自の粉砕技術で20ミクロン以下の超微粉末化を実現」 講師　(株)フィット&リカバリー CEO　鶴留　洋一氏 （２）今語りたいこと（３分間スピーチ）	マークメイザン
地域資源活用プラザ	１２月１７日	（１）講演「先端研究基盤共用促進事業について」 講師　鹿児島大学研究推進機構研究支援センター長　理工研（理学専攻）物理・宇宙プログラム教授 小山　佳一氏 （２）講演「未来に必要な地域の母胎を目指す地域コトづくりセンター」 講師　鹿児島大学理工学研究科コトづくりセンター長　理工研（工学専攻）建築学プログラム教授　二宮　秀與氏	マークメイザン

		（3）今語りたいこと（3分間スピーチ）	
若手経営者プラザ	4月6日	工業倶楽部の DX 化実現に向けた取り組みについて意見交換を実施	マークメイザン
	5月11日	（1）講演「アジアとの経済交流の活性化」 講師 （一社）九州・アジアグローカルサポート 理事長 八十島 誠治氏 （2）近況報告	マークメイザン
	5月15日	「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」の展開について意見交換を実施	(株)中崎電子工業
	6月22日	「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」の展開について意見交換を実施	マークメイザン
	7月26日	「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」の展開について意見交換を実施	マークメイザン
	8月23日	「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」の展開について意見交換を実施	ＷＥＢ会議
	9月24日	「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」の展開について意見交換を実施	ＷＥＢ会議
	10月4日	「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」の展開について意見交換を実施（10月12日開催８４プラザでの発表打合せ)	ＷＥＢ会議
	12月23日	「YouTube バトン」と「オンラインビジネスマッチング」について発表	マークメイザン
プラザいもづる	4月16日	近況報告と情報交換	居酒屋絵空

◇ 研 究 会 活 動 実 績

研究会名	月　日	内　容	場　所
工農連携（市場に学ぶ）研究会	８月６日	鹿児島県農業法人協会（耕種部門）との意見交換会	ホテルウェルビュー鹿児島
	８月１０日	スマート農業ラボツアー（視察先３か所） （１）ＥＮ（エコナーセリー）苗を使用する農家を視察（①上福本様農場・②市薗様農場） （２）コンテナ＆自動搬送ロボットを活用した植物工場「エコナーセリー」及び接ぎ木装置「Ｘグラフター」、並びにＥＮ苗の圃場の視察 （(株)エコナーセリー　農業法人 AGRICIA） （３）ゆす村農園有限会社（熱帯果樹の苗栽培）	姶良市蒲生町 日置市伊集院町
	９月２７日	世界有数の競争力を実現するイスラエル農業を学ぶをテーマに、工農連携研究会「イスラエルスマート農業オンラインセミナー」を開催 （１）講演：「イスラエルのスタートアップ・エコシステムと農業技術」 講師：駐日イスラエル大使館経済部　西日本イスラエル貿易事務所　商務官 樋口　由紀氏 （２）講演：「イスラエル最先端 IoT 技術が、日本の農業の根本を大きく変える？」 講師：（株)サンホープ　代表取締役社長　益満ひろみ氏 （３）講演：「イスラエルの農業と日本へのアプローチ」 講師：(株)ケーアイエヌ　代表取締役社長 ミシリ・ヤロン氏 COO　岡田　梨江氏 営業企画マネージャー　森　由有貴氏	ｵﾝﾗｲﾝ開催
スーパーシティ研究会	１１月２６日	（１）講演「ロボット技術最前線」 講師　鹿児島大学工学部　准教授 鹿嶋　雅之氏 （２）講演「未来都市で活躍する人工知能」 講師　鹿児島大学工学部　教授　小野　智司氏 （３）意見交換	鹿児島大学南九州・南西諸島域共創機構

(1) 貸借対照表

貸　借　対　照　表

令和4年3月31日現在

（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
１．流動資産			
現金預金	1,787,130	7,339,467	△ 5,552,337
未収金	9,285,614	7,069,599	2,216,015
流動資産合計	11,072,744	14,409,066	△ 3,336,322
２．固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	9,430,000	9,430,000	0
基本財産合計	9,430,000	9,430,000	0
(2) 特定資産			
周年事業積立金	0	384,647	△ 384,647
特定資産合計	0	384,647	△ 384,647
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	72,800	72,800	0
			0
その他固定資産合計	72,801	72,801	0
固定資産合計	9,502,801	9,887,448	△ 384,647
資産合計	20,575,545	24,296,514	△ 3,720,969
Ⅱ 負債の部			
１．流動負債			
短期借入金	4,000,000	9,000,000	△ 5,000,000
未払金	442,121	580,396	△ 138,275
預り金	211,119	210,768	351
前受会費	30,000	0	30,000
未払消費税等	703,000	592,000	111,000
流動負債合計	5,386,240	10,383,164	△ 4,996,924
２．固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	5,386,240	10,383,164	△ 4,996,924
Ⅲ 正味財産の部			
１．指定正味財産			
基本財産	0	0	0
特定資産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
２．一般正味財産	15,189,305	13,913,350	1,275,955
（うち基本財産への充当額）	(9,430,000)	(9,430,000)	(0)
（うち特定財産への充当額）	(0)	(384,647)	(△384,647)
一般正味財産合計	15,189,305	13,913,350	1,275,955
正味財産合計	15,189,305	13,913,350	1,275,955
負債及び正味財産合計	20,575,545	24,296,514	△ 3,720,969

(2-1)　正味財産増減計算書

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産利息収入	176	943	△ 767
② 特定資産運用益			
特定資産利息収入	3	9	△ 6
③ 受取入会金			
入会金	150,000	180,000	△ 30,000
④ 受取会費	10,222,500	10,446,600	△ 224,100
正会員	8,822,500	8,946,600	△ 124,100
10,000円×46会員	460,000	410,000	50,000
30,000円×41会員	1,230,000	1,140,000	90,000
55,000円×15会員	825,000	825,000	0
80,000円×34会員	2,720,000	2,800,000	△ 80,000
105,000円×13会員	1,365,000	1,470,000	△ 105,000
130,000円×5会員	650,000	650,000	0
155,000円×9会員	1,395,000	1,395,000	0
新規会員×10会員	177,500	256,600	△ 79,100
計173会員			
賛助会員会費	1,400,000	1,500,000	△ 100,000
100,000円×10会員	1,000,000	1,100,000	△ 100,000
200,000円×2会員	400,000	400,000	0
計12会員			
⑤ 受取補助金	900,000	283,000	617,000
令和3年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	200,000	0
特定求職者雇用開発助成金（厚生労働省）	700,000	83,000	617,000
⑥ 受取負担金	0	434,000	△ 434,000
総会懇談会負担金	0	434,000	△ 434,000
新年大会懇談会負担金	0	0	0
⑦ 事業収入			
知財総合支援窓口運営業務	30,929,824	31,066,625	△ 136,801
⑧ 雑収益	100,062	56,068	43,994
経常収益計	42,302,565	42,467,245	△ 164,680

(2-1)　正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
（2） 経常費用			
① 事業費	20,686,893	21,791,426	△ 1,104,533
給料手当	9,835,690	9,220,397	615,293
賃金	1,556,555	1,741,870	△ 185,315
福利厚生費	1,531,713	1,517,914	13,799
表彰費	31,740	0	31,740
旅費交通費	1,014,623	1,345,942	△ 331,319
通信運搬費	541,331	460,875	80,456
消耗品費	663,826	950,027	△ 286,201
印刷製本費	385,440	373,780	11,660
会議費	151,953	831,200	△ 679,247
賃借料	2,313,735	2,574,429	△ 260,694
支払負担金	224,000	264,000	△ 40,000
広告料	788,920	724,350	64,570
支払利息	45,269	153,723	△ 108,454
租税公課	1,429,550	1,437,500	△ 7,950
雑費	172,548	195,419	△ 22,871
② 管理費	20,339,717	19,946,095	393,622
給料手当	15,642,846	15,115,384	527,462
福利厚生費	2,116,259	2,348,474	△ 232,215
退職金掛金	288,000	288,000	0
退職金	57,360	0	57,360
旅費交通費	44,190	8,550	35,640
通信運搬費	288,942	295,645	△ 6,703
消耗品費	390,864	474,750	△ 83,886
印刷製本費	354,200	263,340	90,860
会議費	0	0	0
諸謝金	0	0	0
賃借料	822,780	1,002,278	△ 179,498
支払負担金	0	0	0
広告料	10,000	0	10,000
支払利息	0	0	0
租税公課	5,900	0	5,900
雑費	318,376	149,674	168,702
公益目的事業費振替額	0	0	0
経常費用計	41,026,610	41,737,521	△ 710,911
当期経常増減額	1,275,955	729,724	546,231
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	1,275,955	729,724	546,231
他会計振替額	0	0	0
一般正味財産期首残高	13,913,350	13,183,626	729,724
一般正味財産期末残高	15,189,305	13,913,350	1,275,955
Ⅲ 正味財産期末残高	15,189,305	13,913,350	1,275,955

(2-2)　正味財産増減計算内訳書

正　味　財　産　増　減　計　算　内　訳　書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法　人　会　計	合　計
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1．経常増減の部				
（1） 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産利息収入	89	0	87	176
② 特定資産運用益			0	0
特定資産利息収入	3	0	0	3
③ 受取入会金				
入会金	75,000	0	75,000	150,000
④ 受取会費	5,111,250	0	5,111,250	10,222,500
正会員	4,411,250	0	4,411,250	8,822,500
10,000円×46会員	230,000	0	230,000	460,000
30,000円×41会員	615,000	0	615,000	1,230,000
55,000円×15会員	412,500	0	412,500	825,000
80,000円×34会員	1,360,000	0	1,360,000	2,720,000
105,000円×13会員	682,500	0	682,500	1,365,000
130,000円×5会員	325,000	0	325,000	650,000
155,000円×9会員	697,500	0	697,500	1,395,000
新規会員×10会員	88,750	0	88,750	177,500
計173会員				
賛助会員会費	700,000	0	700,000	1,400,000
100,000円×10会員	500,000	0	500,000	1,000,000
200,000円×2会員	200,000	0	200,000	400,000
計12会員				
⑤ 受取補助金	200,000	0	700,000	900,000
令和3年度指導団体助成金(鹿児島市)	200,000	0	0	200,000
特定求職者雇用開発助成金（厚生労働省）	0	0	700,000	700,000
⑥ 受取負担金	0	0	0	0
総会懇談会負担金	0	0	0	0
新年大会懇談会負担金	0	0	0	0
⑦ 事業収入				
知財総合支援窓口運営業務	30,929,824	0	0	30,929,824
⑧ 雑収益	50,045	0	50,017	100,062
経常収益計	36,366,211	0	5,936,354	42,302,565

(2-2)　正味財産増減計算内訳書

正　味　財　産　増　減　計　算　内　訳　書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法　人　会　計	合　計
（2）　経常費用				
① 事業費	19,839,735	0	847,158	20,686,893
給　料　手　当	9,835,690		0	9,835,690
賃　金	1,556,555		0	1,556,555
福　利　厚　生　費	1,531,713		0	1,531,713
表　彰　費	31,740		0	31,740
旅　費　交　通　費	985,763		28,860	1,014,623
通　信　運　搬　費	513,525		27,806	541,331
消　耗　品　費	663,826		0	663,826
印　刷　製　本　費	298,760		86,680	385,440
会　議　費	111,703		40,250	151,953
賃　借　料	2,037,359		276,376	2,313,735
支　払　負　担　金	0		224,000	224,000
広　告　料	788,920		0	788,920
支　払　利　息	45,269		0	45,269
租　税　公　課	1,405,900		23,650	1,429,550
雑　費	33,012		139,536	172,548
② 管理費	17,212,145	0	3,127,572	20,339,717
給　料　手　当	13,783,073		1,859,773	15,642,846
福　利　厚　生　費	1,659,179		457,080	2,116,259
退　職　金　掛　金	172,800		115,200	288,000
退　職　金	34,416		22,944	57,360
旅　費　交　通　費	30,933		13,257	44,190
通　信　運　搬　費	202,260		86,682	288,942
消　耗　品　費	273,605		117,259	390,864
印　刷　製　本　費	247,940		106,260	354,200
賃　借　料	575,946		246,834	822,780
広　告　料	5,000		5,000	10,000
支　払　利　息	0		0	0
租　税　公　課	4,130		1,770	5,900
雑　費	222,863		95,513	318,376
公益目的事業費振替額	0			0
経常費用計	37,051,880	0	3,974,730	41,026,610
当期経常増減額	△685,669	0	1,961,624	1,275,955
2．経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	△685,669	0	1,961,624	1,275,955
他会計振替額	685,669		△685,669	0
一般正味財産期首残高	1,690,802		12,222,548	13,913,350
一般正味財産期末残高	1,690,802	0	13,498,503	15,189,305
Ⅲ 正味財産期末残高	1,690,802	0	13,498,503	15,189,305

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
該当事項なし

2. 重要な会計方針
(1) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却は、定額法を採用している。

(2) リース取引の処理方法
通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更
該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	9,430,000	0	0	9,430,000
小計	9,430,000	0	0	9,430,000
特定資産				
周年事業積立金	384,647	0	384,647	0
小計	384,647	0	384,647	0
合計	9,814,647	0	384,647	9,430,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	9,430,000	(0)	(9,430,000)	－
小計	9,430,000	(0)	(9,430,000)	－
特定資産				
周年事業積立金	(0)	(0)	(0)	－
小計	0	(0)	(0)	－
合計	9,430,000	(0)	(9,430,000)	－

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
プロジェクター	135,975	135,974	1	
合計	135,975	135,974	1	

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
令和3年度指導団体助成金	鹿児島市	0	200,000	200,000	0	－
特定求職者雇用開発助成金	厚生労働省	0	700,000	700,000	0	－
合計		0	900,000	900,000	0	－

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
「財務諸表に対する注記」に記載

2. 引当金の明細
引当金なし

財産目録

令和4年3月31日

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・数量等	使用目的等	金額
現金預金		鹿児島銀行本店No.1350394	運転資金	1,073,471
		鹿児島銀行本店No.3087965（知財）	運転資金	226,406
		南日本銀行本店No.484160	運転資金	209,963
		鹿児島銀行 本店 No.3170092	運転資金	277,290
		鹿児島銀行 本店 No.1681505	運転資金	0
			小計	1,787,130
未収金	受取会費	令和4年度会費		10,000
	事業収入	知財総合支援窓口運営業務		9,275,614
			小計	9,285,614
	他会計貸付金		小計	0
流動資産合計				11,072,744
基本財産	定期預金			
		鹿児島銀行 本店①	公益目的及び管理目的としての共有財産 ・公益目的82.2% ・管理目的17.8%	3,430,000
		鹿児島銀行 本店②		3,000,000
		鹿児島相互信用金庫 本店		3,000,000
			小計	9,430,000
特定資産				0
その他固定資産	什器備品	プロジェクター１台	公益目的及び管理目的としての共有財産 ・公益目的83% ・管理目的17%	1
	電話加入権	099-225-8012 他４回線		72,800
固定資産合計				9,502,801
	資産の部　合計			20,575,545
短期借入金	鹿児島銀行	運転資金借入		4,000,000
未払金				0
	3月分社会保険料	健康保険・厚生年金・こども手当拠出金		215,908
	労働保険料	R3年度確定労働保険料差額		13,734
	通信料	インターネット、電話回線使用料等		40,376
	消耗品費	(株)久永、富士ｾﾞﾛｯｸｽ鹿児島		74,093
	支払利息	鹿児島銀行　借入金利息		0
	賃金			96,690
	雑費	振込料等		1,320
			小計	442,121
	他会計借入金			0
			小計	442,121
預り金	預り金	3月分社会保険料	職員分預り	211,119
			小計	211,119
前受会費	受取会費	R4年度会費		30,000
未払消費税等	鹿児島税務署	R3年度消費税及び地方消費税		703,000
他会計振替				0
他会計振替 (繰越残高調整)				0
流動負債合計				5,386,240
固定負債合計				0
	負債の部　合計			5,386,240
	正味財産額			15,189,305
	負債及び正味財産合計			20,575,545

監　査　報　告　書

令和４年４月２６日

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部
　会長　岩　元　　正　孝　殿

監事　餅田淳一　㊞

監事　谷口克也　㊞

私たち監事は、令和３年４月１日から令和４年３月３１日までの令和３年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第９９条第１項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受けるとともに、重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

２　監査の結果

（１）　事業報告等の監査結果

①　事業報告及びその附属明細書、財産目録は、法令及び定款に従い、当倶楽部の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）　計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当倶楽部の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示していると認めます。

【第２号議案】　理事の選任について

新理事の選任

理事　田中　覚　株式会社タナカサトル技術支援　代表取締役

理事　東　和博　東国際特許事務所　所長

理事　水口　毅　ウェイク・アップシステム　代表

理事　米山高兆　KAGOSHIMA 熱闘会議会長

※関係条文

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部定款（抜粋）

(役員の種別及び選任)

第１１条　この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事　　２０人以上３０人以内

(2) 監事　　２人

2　理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

（略）

5　会長、副会長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員の任期)

第１３条　理事及び監事の任期は、選任後２年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。(略)

2　理事及び監事は、再任されることができる。

（公社）鹿児島県工業倶楽部理事（案）

（R4年度）

番号	役職 氏名	所属		番号	役職 氏名	所属	
1	上田平　重樹	インターマン(株) 代表取締役社長	再任	16	本坊　一浩	(株)サナス 代表取締役社長	再任
2	満石　公一	(株)栄電社 代表取締役	再任	17	竹迫　昭人	濵田酒造(株) 専務取締役	再任
3	中間　孝一郎	(株)エム・エム・シー 代表取締役社長	再任	18	林　隆秀	(株)ハヤシエネルギーシステム　代表取締役	再任
4	尾塚ヱイ子	(有)尾塚水産 取締役	再任	19	藤﨑　茂実	藤崎商事(株) 代表取締役	再任
5	岩元　正孝	カクイ(株) 代表取締役	再任	20	寶來　豊晴	宝来メデック(株) 代表取締役	再任
6	門　久義	鹿児島大学名誉教授	再任	21	板山　孝司	(有)マチダ商事 代表取締役会長	再任
7	鮫島　吉廣	鹿児島大学客員教授	再任	22	益留　福一	マトヤ技研工業(株) 代表取締役会長	再任
8	佐々木　一朗	かねだい食品(株) 常務取締役	再任	23	岩重　昌勝	(協)ユニカラー 理事長	再任
9	小坂　秀成	京セラ(株)鹿児島国分工場長	再任	24	弓場　秋信	弓場貿易(株) 代表取締役	再任
10	脇野　真理江	(株)クラインベスト 代表取締役	再任	25	田中　覚	(株)タナカサトル技術支援 代表取締役	新任
11	小谷　俊明	クルーシャル・クーリング・パフォーマンス(株) 専務取締役	再任	26	東　和博	東国際特許事務所 所長	新任
12	神薗　俊一	(株)コレクトプラン 代表取締役	再任	27	水口　毅	ウェイク・アップシステム 代表	新任
13	坂元　昭宏	坂元醸造(株) 代表取締役社長	再任	28	米山　高兆	KAGOSHIMA熱闘会議 会長	新任
14	横山　勝一	大協(株) 代表取締役	再任				
15	尾﨑　直樹	(株)トヨタ車体研究所 取締役・常務役員	再任				

監事

1	餅田　淳一	餅田淳一税理士事務所 代表	再任	2	谷口　克也	鹿児島相互信用金庫 営業戦略部　地域商社室長	再任

【報告事項】　令和４年度事業計画及び予算について

１　基本方針

我が国は、本格的な人口減少や少子高齢化の進行、経済のグローバル化や急速な技術革新の進展、デジタル化やカーボンニュートラルの動き、そして新型コロナウィルス感染症の世界的拡大など、経営環境はかつてない大きな変革期の中にある。

また、国連が提唱する SDGs(持続可能な開発目標)には多くの企業が賛同し、これに対応しようという取組が盛んになっている。企業にとっての SDGs は、これを無視して事業活動を行うことは、企業の持続可能性を揺るがす「リスク」をもたらす、一方、いまだ開拓されていない巨大な市場を獲得するための大きな「機会」となり得る。

工業倶楽部は製造業の競争力の強化及び本県の基幹産業である農業との連携や、将来を担う新産業の創出にも取り組み、今後も様々な団体との協働を深め、異業種交流をさらに深化させ、パートナーシップによるビジネスチャンスを拡大するために、AI や IoT などデジタル技術を活用し、DX を推進し、大きく変化する経営環境や状況に対応できる企業の成長に貢献することを目指す。

令和４年度は、今後の成長が見込まれる情報通信関連分野や環境・新エネルギー分野、ロボット関連分野、ヘルスケア産業など、企業が新たな価値を持つ事業展開への支援を行う。また、新たなビジネスチャンスを獲得するためのツールとして SDGs が注目を集めており、SDGs を活用して自社の企業価値向上や競争力強化を実現する手法を学ぶセミナー等を開催する。

さらに、知的財産権について中小企業等が企業経営の中で抱える悩みや課題を一元的に受け付け、知財専門家や中小企業支援機関と協働して解決に導く「知財総合支援窓口運営業務」に取り組み、中小企業の知財経営を促進する。

さらにまた、公益社団法人として、会員外の企業・団体等も含めて、国及び県並びに鹿児島大学、県工業技術センター、(公財) かごしま産業支援センター等との連携を一段と強化して、当倶楽部の活動が県内の産業振興に寄与するよう積極的に各種施策を展開する。

２　主要事業

(活性化事業)

①　企業変革力強化に対する提案等　　【特命委員会】
②　知財を活用した産業活性化の推進　　【特命委員会】
③　SDGs に関連する事業の推進　　〃
④　新規会員の加入促進　　【総務・広報委員会】

（異業種交流事業）

① 時代を先取りする異業種交流事業の実施【事業委員会】

・企業ニーズと大学等のシーズを活用した自社製品の開発や販路拡大等の促進による経営基盤の強化

・医療、農林水産、環境、エネルギー、観光等多分野にまたがる異業種交流を促進し、事業拡大や新製品開発に取り組む

② 県外の工業団体等との交流促進【渉外委員会】

・九州内の工業団体等の交流による情報交換、事業提携

・県外産業界等との交流による会員の事業拡大、資質向上の促進

・鹿児島大学、県工業技術センター、かごしま産業支援センター、二水会との連携

③ IoT や AI などデジタル技術等を活用した新たな事業展開の研究 【事業委員会】

④ 農業と連携した新たな産業育成の研究 〃

⑤ プラザ、部会、研究会、地区プラザの活性化推進 〃

（産・学・官連携事業）

① 鹿大等との交流連携の推進

・企業ニーズと大学等のシーズのマッチングによる事業化の支援、推進【渉外委員会】

・「食と健康に関するシンポジウム」の開催 【特命委員会】

② 若者就職活動に関するサポート活動の強化 【特命委員会】

・各種インターンシップの支援

③ 会員大学教授・名誉教授等による相談対応 【渉外委員会】

（広報・デザイン開発事業）

① 工業倶楽部のイメージアップ及び知名度拡大 【総務・広報委員会】

・県、県議会、マスコミ等との交流の推進

・会員企業の活動や実績等の情報発信に努め、HP 及び Youtube の活用による事業連携及び会員増強並びに知名度アップ

・デザインと技術の融合による製品・商品の高付加価値化と販路拡大

3 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当年度における借り入れ予定 知財総合支援窓口設置に係る短期借入

・借入限度額 3,200 万円（概算払を活用し、借入額の縮減に努める）

(2) 設備投資の見込みについて

なし

正味財産増減予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
（1） 経常収益			
① 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	188	943	△ 755
② 特定資産運用収入			
特定資産利息収入	0	4	△ 4
③ 受取入会金			
入会金	90,000	90,000	0
④ 受取会費	10,155,000	10,405,000	△ 250,000
正会員	8,755,000	9,005,000	△ 250,000
10,000円×46会員	460,000	490,000	△ 30,000
30,000円×42会員	1,260,000	1,320,000	△ 60,000
55,000円×15会員	825,000	880,000	△ 55,000
80,000円×35会員	2,800,000	2,800,000	0
105,000円×13会員	1,365,000	1,470,000	△ 105,000
130,000円×5会員	650,000	650,000	0
155,000円×9会員	1,395,000	1,395,000	0
計165会員			0
賛助会員会費	1,400,000	1,400,000	0
100,000円×10会員	1,000,000	1,000,000	0
200,000円×2会員	400,000	400,000	0
計12会員			
⑤ 受取補助金			
令和4年度指導団体助成金（鹿児島市	200,000	200,000	0
⑥ 受取負担金	1,260,000	1,260,000	0
総会懇談会負担金	630,000	630,000	0
新年大会懇談会負担金	630,000	630,000	0
⑦ 事業収入			
知財総合支援窓口運営業務	30,143,306	32,456,903	△ 2,313,597
⑧ 雑収益	50,000	50,000	0
受取利息等収入	50,000	50,000	0
			0
経常収益計	41,898,494	44,462,850	△ 2,564,356

正味財産増減予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
（2） 経常費用			
① 事業費	21,678,301	23,937,210	△ 2,258,909
給料手当	10,066,562	10,015,720	50,842
賃金	1,429,996	2,079,000	△ 649,004
福利厚生費	1,612,222	1,612,380	△ 158
退職金掛金	0	0	0
退職金	0	0	0
表彰費	60,000	60,000	0
旅費交通費	1,224,378	2,188,929	△ 964,551
通信運搬費	809,587	430,064	379,523
消耗品費	459,960	310,739	149,221
印刷製本費	333,980	300,000	33,980
会議費	1,562,000	1,562,000	0
賃借料	1,710,516	2,359,288	△ 648,772
広告料	550,000	989,890	△ 439,890
支払負担金	234,000	354,000	△ 120,000
支払利息	100,000	200,000	△ 100,000
租税公課	1,393,100	1,475,200	△ 82,100
雑費	132,000	0	132,000
② 管理費	19,908,993	20,462,551	△ 553,558
給料手当	15,139,688	14,989,446	150,242
福利厚生費	2,188,065	2,821,205	△ 633,140
退職金掛金	288,000	288,000	0
賃金	5,900	5,900	0
旅費交通費	73,000	200,000	△ 127,000
通信運搬費	290,000	310,000	△ 20,000
消耗品費	341,000	360,000	△ 19,000
印刷製本費	353,340	360,000	△ 6,660
会議費	0	0	0
諸謝金	0	0	0
賃借料	1,047,000	776,000	271,000
広告料	0	0	0
支払利息	0	0	0
租税公課	2,000	30,000	△ 28,000
雑費	181,000	322,000	△ 141,000
公益目的事業費振替額			
経常費用計	41,587,294	44,399,761	△ 2,812,467
当期経常増減額	311,200	63,089	248,111
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益		0	
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用		0	0
		0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替前)	311,200	63,089	248,111
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額			
一般正味財産期首残高	15,189,305	13,913,350	1,275,955
一般正味財産期末残高	15,500,505	13,976,439	1,524,066
Ⅲ 正味財産期末残高	15,500,505	13,976,439	1,524,066

正味財産増減予算内訳書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1．経常増減の部				
（1） 経常収益				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	94	0	94	188
② 特定資産運用収入				
特定資産利息収入	0	0	0	0
③ 受取入会金				
入会金	45,000	0	45,000	90,000
④ 受取会費	5,077,500	0	5,077,500	10,155,000
正会員	4,377,500	0	4,377,500	8,755,000
10,000円×46会員	230,000	0	230,000	460,000
30,000円×42会員	630,000	0	630,000	1,260,000
55,000円×15会員	412,500	0	412,500	825,000
80,000円×35会員	1,400,000	0	1,400,000	2,800,000
105,000円×13会員	682,500	0	682,500	1,365,000
130,000円×5会員	325,000	0	325,000	650,000
155,000円×9会員	697,500	0	697,500	1,395,000
	0	0		0
計165会員				
賛助会員会費	700,000	0	700,000	1,400,000
100,000円×10会員	500,000	0	500,000	1,000,000
200,000円×2会員	200,000	0	200,000	400,000
計12会員				
⑤ 受取補助金				
令和4年度指導団体助成金（鹿児島	200,000	0	0	200,000
⑥ 受取負担金	0	0	1,260,000	1,260,000
総会懇談会負担金	0	0	630,000	630,000
新年大会懇談会負担金	0	0	630,000	630,000
⑦ 事業収入	30,143,306	0	0	30,143,306
⑧ 雑収益	25,000	0	25,000	50,000
受取利息等収入	25,000	0	25,000	50,000
経常収益計	35,490,900	0	6,407,594	41,898,494

正味財産増減予算内訳書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
（2） 経常費用				
① 事業費	19,267,301	0	2,411,000	21,678,301
給料手当	10,066,562		0	10,066,562
賃金	1,429,996		0	1,429,996
福利厚生費	1,612,222		0	1,612,222
退職金掛金	0		0	0
表彰費	60,000		0	60,000
旅費交通費	1,127,378		97,000	1,224,378
通信運搬費	789,587		20,000	809,587
消耗品費	459,960		0	459,960
印刷製本費	133,980		200,000	333,980
会議費	217,000		1,345,000	1,562,000
賃借料	1,350,516		360,000	1,710,516
支払負担金	0		234,000	234,000
広告料	550,000		0	550,000
支払利息	100,000		0	100,000
租税公課	1,370,100		23,000	1,393,100
雑費	0		132,000	132,000
② 管理費	16,066,274	0	3,842,719	19,908,993
給料手当	12,731,351		2,408,337	15,139,688
福利厚生費	1,556,065		632,000	2,188,065
退職金掛金	172,800		115,200	288,000
賃金	4,720		1,180	5,900
旅費交通費	51,000		22,000	73,000
通信運搬費	203,000		87,000	290,000
消耗品費	239,000		102,000	341,000
印刷製本費	247,338		106,002	353,340
会議費	0		0	0
諸謝金	0		0	0
賃借料	733,000		314,000	1,047,000
広告料	0		0	0
支払利息	0		0	0
租税公課	1,000		1,000	2,000
雑費	127,000		54,000	181,000
公益目的事業費振替額	0			
経常費用計	35,333,575	0	6,253,719	41,587,294
当期経常増減額	157,325	0	153,875	311,200
２．経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額(他会計振替	157,325	0	153,875	311,200
他会計振替額	0			
当期一般正味財産増減額	157,325		153,875	311,200
一般正味財産期首残高	1,690,802		13,498,503	15,189,305
一般正味財産期末残高	1,848,127	0	13,652,378	15,500,505
Ⅲ 正味財産期末残高	1,848,127	0	13,652,378	15,500,505

◇　講　演

演　題：地域の中小企業等の「稼ぐ力」の創出・向上について

講　師：鹿児島県商工労働水産部長

平　林　孝　之　氏

（プロフィール）

平成 10 年４月 通商産業省 入省

22 年６月 経済産業省商務情報政策局流通政策課

流通・物流政策室長補佐

24 年７月 経済産業省製造産業局紙業服飾品課長補佐

26 年７月 独立行政法人日本貿易振興機構ベルリン事務所次長

29 年７月 経済産業省産業技術環境局地球環境対策室長

30 年７月 経済産業省大臣官房グローバル産業室企画官

31 年３月 経済産業省貿易経済協力局貿易管理部貿易審査課特殊関税等調査室長

令和３年４月 鹿児島県商工労働水産部長